

ESDom



E:Education
for
S:Sustainable
D:Development
O:omagari
m:minami

H.28.2.8 No.11

ESD/ユネスコスクール 東北コンソーシアム成果発表会

今年度の学習成果を紹介し合いました

2月5日(金)TKP ガーディンシティ仙台ホールを会場に、平成27年度「ESD/ユネスコスクール東北コンソーシアム成果発表会」が開かれました。

大曲南中学校は、今年度の朝風タイムを中心とした取組について発表しました。1年生は食育、2年生はエネルギー学習、3年生は国際理解学習と、学年に応じた学習を進めたことを紹介し、「先輩の『思い』を私たちが引き継ぎ、今後も、自分たちができることを積み重ねることが、明るい未来につながることを信じて、取り組んでいきたい。」という提言で締めくくりました。約150名が入れる会場で、聴衆は、様々な地区の教育委員会の方や、大学職員など、大人がほとんどでしたが、生徒会長・副会長はたいへん堂々とした態度で、声量豊かに発表することができました。



大仙市立大曲南中学校
自然と子どもの心を未来につなぐ「ESD」



生徒会長・副会長による発表



平泉町立平泉小学校
～古都 平泉から学ぶ 歴史 人 絆～

他の学校の発表の概略

平泉町立平泉小学校

生きとし生けるものの霊を敵味方の区別無く慰めようとする『浄土思想』を、世界平和と人との絆に関連させた学習。

気仙沼市立階上小学校

ワカメ養殖体験を中心とした、食・産業学習。

宮城県立多賀城高等学校

防災学習・自然科学学習・国際理解学習を3つの柱として、東日本大震災の教訓を伝承、国内外の災害研究・被災地支援ができる人材の育成。

児童生徒以外にも、白神山地財団、仙台ユネスコ協会青年部の活動紹介がありました。



気仙沼市立階上小学校
「海と生きる『海洋教育』の推進」



仙台ユネスコ協会青年部
宮城ユネスコ子どもキャンプ
みらい探検隊



青森県白神山地財団 (NGO)
白神型ESDプログラム



宮城県立多賀城高等学校
被災地から発信する未来型教育モデル